

国登録有形文化財

能代市観光交流施設

# 旧料亭金勇

かねゆう



Noshiro City Tourist Facility

KANEYU  
Admission Free

## ご案内

- 見学時間…9:30～16:30
- 入館料…無料
- 案内料…1人300円(要予約)  
団体割引(21人～)1人270円
- 休館日…年末年始(12月29日～1月3日)
- 貸出料(1時間あたりの料金)  
貸出時間…9:00～21:00

部屋名	9:00～18:00	18:00～21:00
有明(8畳)	90円	110円
吉野(10畳)	110円	130円
川風(12畳)	130円	160円
満月(42畳)	320円	380円
大広間(110畳)	800円	960円
全館	1,450円	1,740円

\*営業利用の場合は1.5倍

\*冷暖房費(1時間あたり)

有明・吉野・川風 100円 満月 400円 大広間 900円

食事手配…ご希望のお部屋へお食事等を手配しております。

前日(夜間は3日前)までにお電話でお申し込みください。

部屋貸出…食事での利用の他、催し物や展示会等にご利用いただけます。



### 交通案内

- JR五能線 能代駅より徒歩10分
- 能代東IC、能代南ICより車で15分
- 駐車場完備 大型バス・マイクロバス可

Free Wi-Fi

### お問い合わせ

〒016-0825 能代市柳町13-8  
☎0185-55-3355

HP <http://www.kaneyu.jp>

## 天然秋田杉の殿堂 旧料亭金勇

能代市は米代川の河口の町として発展し、秋田杉の製材を中心とした木材加工の町として栄えました。明治中期、秋田木材株式会社を設立した井坂直幹(いさかなおもと)が機械製材を導入してから木材加工業は急速に発達し、市内には製材工場が立ち並びました。製材された材木は国内のみならず海外まで輸出され「東洋一の木都(もくと)」と称されるまで発展しました。

七つの大屋根を持つ入母屋が特徴的な数奇屋造りのこの建物は、栄華を極めた材木界の迎賓館として、取引き先の方々をおもてなしするために昭和12年に建てられました。天然秋田杉の良材を余すことなく使用した上品な造りが今も見るものを魅了します。木材加工で栄えた「木都」の栄華を今に伝える貴重な歴史的建築物です。

## 旧料亭金勇の歩み

- 明治23年(1890年) 初代金谷勇助 柳町に貸座敷の開運楼を創業
- 明治26年(1893年) 4月 政談演説の場として現在地に山本俱楽部を建築、他に劇場の米代座、能代公園の和洋料理 紫明館(昭和7年焼失)を経営
- 明治38年(1905年) 12月 柳町に火事があり開運楼が全焼
- 明治39年(1906年) 9月 開運楼を再建し金勇楼と称した
- 明治45年(1912年) 7月 柳町に再度火事があり金勇楼が全焼 再建後、山本俱楽部別館と称した
- 昭和12年(1937年) 2代目金谷勇助、山本俱楽部を解体し金勇俱楽部として建て替え 8月着工 9月上棟式 11月10日竣工 大工45人、人夫20人を常用地亭金勇へ名称を変更
- 昭和26年(1951年) 10月 別館解体に伴い玄関を改築し厨房を増築、舞台を改修し空調を取り付
- 昭和32年(1957年) 大広間舞台の緞帳を新調 上げ汐の間、曙の間などを増築
- 昭和45年(1970年) 昭和54年(1979年) 日本海中部地震により一部損壊 大広間の照明などを改修
- 平成10年(1998年) 10月 国登録有形文化財に登録
- 平成20年(2008年) 8月 料亭金勇閉店
- 平成21年(2009年) 3月 4代目当主、能代市へ土地建物を寄贈
- 平成25年(2013年) 増築部分を解体し耐震補強工事 12月 観光交流施設能代市旧料亭金勇として開館

